



レンジャーミニ鑑 ⑨

狭山丘陵の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

狭山丘陵で見られる赤とんぼ

●はねに大きなもようがない

★裏面にしらべかたがのっています



1. アキアカネ (トンボ科)

- 大きさ：34～45mm
- 見られる時期：6～11月

夏は集まって山ですごし、秋に里へ下りてくる。平地から低い山の池、ぬま、しっ地や田んぼで見られる。

2. ナツアカネ (トンボ科)

- 大きさ：34～41mm
- 見られる時期：6～11月

全身が赤くなる。平地から低い山の池、ぬま、しっ地や田んぼで見られる。アキアカネより数が少ない。

3. マユタテアカネ (トンボ科)

- 大きさ：33～35mm
- 見られる時期：7～11月

顔に眉(まゆ)のような黒い点があり、おしりが真っ赤になる。平地から低い山の、木に囲まれたしっ地、田んぼで見られる。

4. ヒメアカネ (トンボ科)

- 大きさ：29～32mm
- 見られる時期：7～11月

赤トンボの中で一番小さく、おしりが真っ赤になる。平地や丘陵地の、水草が多いしっ地、田んぼで見られる。

●はねの先におびがある

●はねの真ん中より先におびがある

●はねのつけねが赤い



5. ノシメトンボ (トンボ科)

- 大きさ：40～49mm
- 見られる時期：6～11月

赤トンボの中で一番大きい。全身が暗い赤色になる。平地から丘陵地の池やぬま、しっ地、田んぼで見られる。

6. コノシメトンボ (トンボ科)

- 大きさ：36～42mm
- 見られる時期：7～11月

顔からおしりまで全身真っ赤になる。平地から丘陵地の、ぬまや田んぼで見られる。

7. ミヤマアカネ (トンボ科)

- 大きさ：32～40mm
- 見られる時期：7～11月

オスは全身赤くなり、メスはお腹の先に黒い模様がある。平地から低い山の池、ぬま、しっ地や田んぼで見られる。

8. ネキトンボ (トンボ科)

- 大きさ：38～45mm
- 見られる時期：7～10月

顔からおしりまで真っ赤になる。平地から丘陵地の、木に囲まれた池、ぬまで見られる。

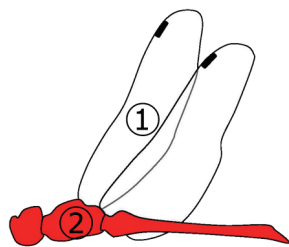


狭山丘陵で見られる赤とんぼ

■赤トンボのしらべかた

見つけた赤トンボの名前を
しらべてみよう！

①はねのもよう



・大きなもようはない



・先におびがある



・真ん中より先におびがある



・つけねが赤い



②むねのもよう



筋の先がとがる



筋の先が角張る



顔に黒い点
※メスははねの先が黒いものもある



筋が上まで伸びる



筋がつながる



目立つ筋はない



太い2本の筋がある



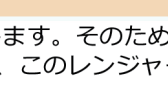
筋の先がとがる



筋の先が角張る



顔に黒い点
※メスははねの先が黒いものもある



筋が上まで伸びる

③赤トンボの名前

表の写真をみてみよう

1. アキアカネ
2. ナツアカネ
3. マユタテアカネ
4. ヒメアカネ
5. ノシメトンボ
6. コノシメトンボ
7. ミヤマアカネ
8. ネキトンボ



つながって産卵するナツアカネのオス(前)とメス

成熟すると赤くなる!

秋晴れの青い空に、群れをなして飛ぶ赤とんぼを見ると、「ああ秋が来たんだな」という気持ちになる人は多いでしょう。

この赤トンボ、初めから赤いのでしょうか？
じつは、羽化した頃はオスもメスも同じ黄色なのですが、産卵の時期が近づく夏の終わり頃から、オスはだんだん赤く色付いてきます。

種類によって赤くなり方も様々で、ナツアカネやコノシメトンボなどは、顔からお尻の先まで真っ赤になります。アキアカネやマユタテアカネなどはお尻が赤くなります。

しかし、どの種もメスはほとんど赤くなりません。

それぞれの赤トンボのどこがどれくらい赤いかや、色の違いなどを調べてみましょう！

※赤トンボとは、主に「トンボ科 アカネ属」のトンボをさします。そのため、全身が赤いショウジョウトンボ（ショウジョウトンボ属）や、オレンジ色のウスバキトンボ（ウスバキトンボ属）などは、このレンジャーミニ図鑑に記載していません。